

振込入金明細（全銀形式・CAMSフォーマット2）レコードフォーマット

ファイル名：50200001XX00 *XXはサイクル番号

①ヘッダーレコード

項番	項目名	属性	項目内容
1	データ区分	N(1)	「1」ヘッダーレコード
2	種別コード	N(2)	「01」振込入金通知
3	コード区分	N(1)	使用文字コード区分（0：JIS 1：EBCDIC）
4	作成日	N(6)	データ受信日 YYMMDD（和暦）
5	勘定日（自）	N(6)	勘定日 YYMMDD（和暦） 日付順の場合、（自）（至）は同一年月日をセット
6	勘定日（至）	N(6)	
7	銀行コード	N(4)	「0005」固定
8	銀行名	C(15)	「ミツビシエフジエイ」（左詰めで残りはスペース）
9	支店コード	N(3)	照会口座の支店番号
10	支店名	C(15)	照会口座の支店名（カナ）（左詰めで残りはスペース）
11	預金種目	N(1)	科目コード 1：普通預金 2：当座預金
12	口座番号	N(7)	照会口座の口座番号（右詰め、前は”0”で埋めます）
13	口座名	C(40)	照会口座の口座名（先頭40文字まで）（左詰めで、残りはスペース）
14	ダミー	C(93)	スペース

②データレコード

項番	項目名	属性	項目内容
1	データ区分	N(1)	「2」データレコード
2	照会番号	N(6)	異動明細番号（右詰め、前は”0”で埋めます）
3	勘定日	N(6)	勘定日 YYMMDD（和暦） 銀行営業日19時以降の当日日付変更処理完了後および土日・休日は、明細発生日の翌銀行営業日をセットします。
4	起算日	N(6)	明細発生日 YYMMDD（和暦） 締後起算取引は、起算日をセットします。
5	金額(1)【金額】	N(10)	取引金額（右詰め、前は”0”で埋めます） 取引金額が10桁以内の場合に使用。 取引金額が10桁を超える場合（100億円以上）は、項番12、13が「CAMSフォーマット1」の項番12～15となります。
6	他店券金額(1)【うち他店券金額】	N(10)	取引金額中の他店券金額（右詰め、前は”0”で埋めます） 当日資金化される金額を含みます。 取引金額が10桁以内の場合に使用。 取引金額が10桁を超える場合（100億円以上）は、項番12、13が「CAMSフォーマット1」の項番12～15となります。

7	振込依頼人番号【振込依頼人コード】	N(10)	振込依頼人番号（右詰め、前は”0”で埋めます） 振込依頼人番号がセットされていない場合はスペース
8	振込依頼人名	C(48)	振込依頼人名（左詰めで残りはスペース）
9	仕向銀行名	C(15)	振込元の銀行名（左詰めで残りはスペース）
10	仕向店名	C(15)	振込元の預金店名（左詰めで残りはスペース）
11	取消区分	N(1)	0：振込 1：振込訂正
12	EDI情報	C(20)	依頼人から通知されたEDI情報 ※1
13	ダミー	C(52)	スペース

③トレーラレコード

項番	項目名	属性	項目内容
1	データ区分	N(1)	「8」トレーラレコード
2	振込合計件数	N(6)	取消区分が「0：振込」であるデータレコードの件数（右詰め、前は”0”で埋めます）
3	振込合計金額	N(12)	取消区分が「0：振込」であるデータレコードの合計金額（右詰め、前は”0”で埋めます）
4	取消合計件数	N(6)	取消区分が「1：振込訂正」であるデータレコードの件数（右詰め、前は”0”で埋めます）
5	取消合計金額	N(12)	取消区分が「1：振込訂正」であるデータレコードの合計金額（右詰め、前は”0”で埋めます）
6	ダミー	C(163)	スペース

④エンドレコード

項番	項目名	属性	項目内容
1	データ区分	N(1)	「9」エンドレコード
2	総レコード件数	【ダミー】	エンドレコードまで含むデータの総件数（右詰め、前は”0”で埋めます）
3	伝送口座数		ヘッダーレコードの総件数（右詰め、前は”0”で埋めます）
4	ダミー		C(184) スペース

- 文字コードは「シフトJISコード」もしくは「EBCDICコード」（半角文字のみ、全角文字は使用不可）です。
- 属性 N：数字 C：文字 カッコ内はバイト数
半角文字は1文字あたり1バイトになります。

※1 EDI情報欄に「` ` °」（濁点、濁点、半濁点）で始まる文字列がセットされた場合、振込依頼人より金融EDI情報が送られてきていることを表します。

- VALUX対応ソフトなどご利用ソフト独自の編集仕様については、ソフト提供元にご確認ください。